

分校日記 イーハトーブの赤い屋根（1978）

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

時間 118分

初公開日 1978/02/25

【解説】

原作は直木賞作家・三好京三の『分校日記』。脚本は朝間義隆、梶浦政男、斉藤貞郎、熊谷勲らの共同執筆による。監督はこの作品がデビュー作となる熊谷勲。撮影は鈴木則男が担当。山間の分校に赴任した教師と子供たちのふれあいを描く。

岩手県の山村にある花森分校。はやる心で二十名足らずのこの分校に赴任してきた久慈昭子は、一年半ぶりに再会する夫の健造と共に授業に取り組もうとしていた。健造が教育以外の村の仕事をしていたり、分校が地域のあらゆる生活機関であることなどを知り、慣れない山の生活で驚きや落胆の繰り返し繰り返してあったが、健造に支えられながら昭子は懸命に学校を支える。なかなか子どもと打ち解けることができない昭子に、健造は課外授業を提案するのだが…。

【クレジット】

監督 熊谷勲

製作 山田洋次

赤井明

斉藤貞郎

原作 三好京三

脚本 朝間義隆

梶浦政男

斉藤貞郎

熊谷勲

撮影 鈴木則男

美術 田口和男

編集 後藤彦治

音楽 佐藤勝

助監督 梶浦政男

出演 上條恒彦

丘みつ子

倍賞千恵子

寺尾聰

毛頭沢分校の子供たち Kezusawa Bunko No Kodomo Tachi